

地域ブロック: 北陸

ルート名称 : 佐渡国しま海道

活動名称 : 寄れっ茶屋事業

1. 活動の概要

「小さな道の駅」をコンセプトにして、佐渡を訪れる観光客に道案内をしたり、トイレ・休憩場所を無償で提供したりするなどのささやかなおもてなしの場所を「寄れっ茶屋」と名付け、民家や地元の商店などの協力のもとに島内全域に展開している。

現在46件の寄れっ茶屋が活動をしている。

(1) 活動内容

- ①トイレ・休憩場所の無償提供
- ②簡単な道案内や観光パンフレットには載っていないちょっとした地元の情報の提供
- ③各寄れっ茶屋独自のサービスを提供（手話での案内が出来る、手作りのパンやコーヒー・お茶などの無償提供、etc…）



寄れっ茶屋



イベント参加者へのマップ配布



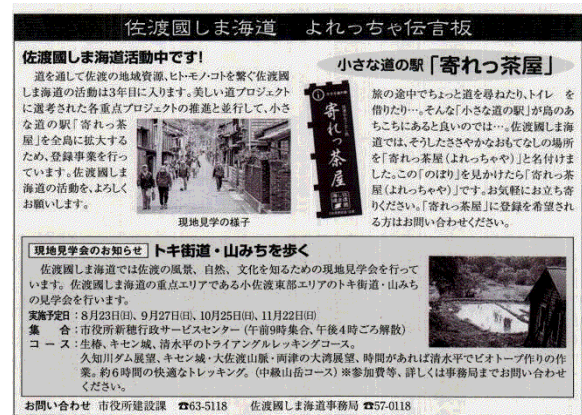
寄れっ茶屋マップ

(2) 活動による成果・効果

- ① 旅の途中で気軽に立ち寄り無償でトイレを借りたり道を聞いたり出来る場所が出来たことにより、地元の人との交流を通して近年盛んになって来たスローツアーの手助けをすることができる。
 - ② パンフレットに載っているいわゆる観光地以外の島の見所や、その時期限定の地元の情報（地域の祭りや行事などの開催）を提供することにより、佐渡の魅力をもより一層伝えることが出来る。
- ※佐渡には多彩な郷土芸能があり、地域の祭りや年中行事などで披露されている。



2009. 7. 1 朝日新聞記事



市報さど 8月号記事

(3) 活動のきっかけ、目的・目標

- ・ 佐渡は日本で1番大きな離島(東京23区の1.5倍の面積)であり、国の特別天然記念物の朱鷺をはじめ自然景観や歴史遺産が豊富で見所満載の観光の島である。
- ・ しかし、島の中心にある平野部や観光スポットから少し離れると海岸線沿いには小さな集落が点在し、商店などのお店や公衆トイレが少なく、道を尋ねたり休憩をしたりトイレに行ったりするのが大変困難な状況であった。
- ・ そこで観光に訪れた方が旅の途中で気軽にちょっと道を尋ねたり、一休みしながら地元の人との交流をしたり、トイレを借りることが出来る、そんな「小さな道の駅」が島のあちこちにあればよいのでは？と考え、佐渡の方言で「寄って行きませんか」という意味の「寄れっちゃ」と「茶屋」を掛けて「寄れっ茶屋」と名付け、ささやかなおもてなしを提供出来る場所として島内全域に展開することとした。

2. 取り組み内容

(1) 活動を行うに当たっての主な課題

①参加者の増員とその地区について

- ・ どうやって参加者を増やすか。地区によっては何軒もかたまっていたりするが、寄れっ茶屋が無い地区もあり、無い地区の参加者をどう増やすか。

②寄れっ茶屋どうしの横のつながり

- ・ 現在、各寄れっ茶屋どうしの横のつながりがなく情報交換がされていない。

③宣伝について

- ・ 寄れっ茶屋の活動をどうやって観光客に知ってもらうか。

(2) 具体的取り組み内容

①参加者の増員とその地区について

主旨に賛同して名乗りを上げる方に参加してもらい、少しずつ参加者は増えて来てはいるがまだまだ十分な数ではない。

基本的にボランティアなので特に勧誘などはして来なかったのだが、今後は寄れっ茶屋が無い地域や少ない地域への勧誘活動も必要ではないかと考えている。

②寄れっ茶屋どうしの横のつながり

各寄れっ茶屋同士の交流がなく活動を通しての問題点や意見の交換がされていないのが現状だが、まだ本格的な活動を開始したばかりであり今後意見交換会の開催を計画している。

意見交換会の他にも定期的に巡回し、問題点や意見を集約して取り纏めを行い参加者にフィードバックする事も検討中である。

③宣伝について

寄れっ茶屋の位置図や各寄れっ茶屋の簡単な紹介を盛り込んだマップの配布、佐渡国しま海道のHP・市の広報誌・フリーペーパーなどに掲載して宣伝を行っているので、島内の認知度は徐々に上がって来てはいるものの、肝心の観光客への宣伝がなかなか上手く行っていない。

トライアスロンやロングライド等のイベント参加者へマップを配布して下見や試走などの時に是非寄れっ茶屋を活用してもらいたいと宣伝した。他にどんな方法で観光客にお知らせしたらよいか検討中である。

3. 取り組み上の反省点、活動の結果生じた課題、その対応方針等

- (1) 当初、年間を通して活動をするつもりでいたのだが、冬場は観光客も極端に少なくなるので期間限定の活動に変更も検討する必要がある。
- (2) 海岸沿いにある寄れっ茶屋が多く、強風のため寄れっ茶屋の目印であるのぼり旗が直ぐに破損してしまうので、のぼり旗をもっと丈夫な素材で製作することも検討する必要がある。

※冬場は閉鎖するのであれば現状のままで大丈夫かも？

- (3) 現在島内全域に展開されているが各寄れっ茶屋がバラバラで個々に活動をしているような状態であり、今後大きな地区に分けて担当者を置くなどの組織化を図り縦と横のつながりを強化しながら活動を広げる必要がある。

4. 問い合わせ先

所属団体 佐渡国しま海道(佐渡市建設部建設課)
担当者名 渡辺貴光(ワタベ タミツ)
電話番号 0259-63-5118 (内線 416)
メールアドレス S3708@city.sado.niigata.jp

関連HP <http://www.sado-kaidou.com/index.html>